

墨田区地球温暖化対策実行計画（事務事業編）第5次計画  
2023（令和5）年度結果報告書

- 第5次計画期間中（2020年度～2025年度）の削減目標  
2013（平成25）年度比で、2025（令和7）年度までに温室効果ガス排出量を27.5%削減する。  
※区の環境基本計画である「第二次すみだ環境の共創プラン」に合わせるため、計画期間を1年延長した。

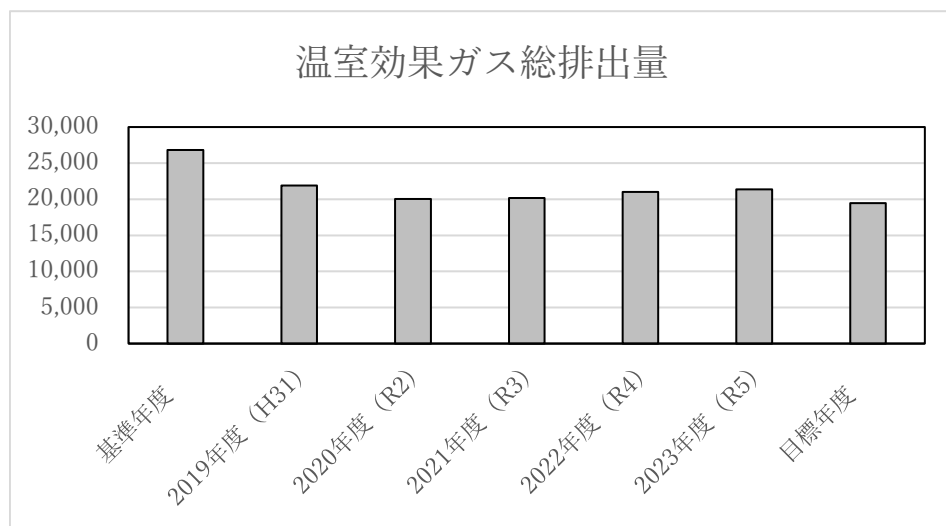
1 2023（令和5）年度の温室効果ガス総排出量

2023（令和5）年度区の事務事業による温室効果ガス排出量は、21,353 t-CO<sub>2</sub>で、前年度比で1.5%増加したが、基準年度比では20.4%減少となっている。

**総排出量** 21,353 t-CO<sub>2</sub>（1 t 未満四捨五入）  
 基準年度 26,825 t-CO<sub>2</sub> 20.4%減少  
 前年度 21,028 t-CO<sub>2</sub> 1.5%増加

表1 区施設における温室効果ガスの総排出量

	基準年度 2013年度 (平成25年度)	2019年度 (平成31 年度)	2020年度 (令和2年度)	2021年度 (令和3年度)	2022年度 (令和4年度)	2023年度 (令和5年度)	目標値 2025年度 (令和7年度)
排出量 (t-CO <sub>2</sub> )	26,825	21,886	20,056	20,173	21,028	21,353	19,448
基準年度比増減 量(t-CO <sub>2</sub> )	—	△4,939	△6,769	△6,652	△5,797	△5,472	△7,377
前年度比増減量 (t-CO <sub>2</sub> )	—	△2,055	△1,830	117	855	325	—
基準年度比 (%)	—	△13.9	△25.2	△24.7	△21.6	△20.4	△27.5
前年度比(%)	—	△8.6	△8.3	0.6	4.2	1.5	—



## 2 2023（令和5）年度の各エネルギー使用量

本計画では、エネルギー使用量の削減目標を、「エネルギーの使用と合理化及び非化石エネルギーへの転換等に関する法律」（昭和54年6月22日、法律第49号）に基づき、前年度比1%以上削減し、6年間で6%以上の削減を目標としている。（表2）

燃料使用量は、前年度より減少し、目標値を達成しているが、電気・都市ガス・熱源の使用量が増加となった。

(1)	<b>電気使用量</b>	<b>31,671,430kwh</b>	
	前年度	31,246,839kwh	1.3%増加
(2)	<b>都市ガス使用量</b>	<b>2,818,349m<sup>3</sup></b>	
	前年度	2,783,332m <sup>3</sup>	1.2%増加
(3)	<b>熱源使用量</b>	<b>7,551,519MJ</b>	
	前年度	7,167,208MJ	5.3%増加
(4)	<b>燃料使用量</b>	<b>94,379ℓ</b>	
	前年度	81,705ℓ	15.5%増加

表2 発生源別使用量

	基準年度 2019年度 (H31年度)	2020年度 (R2年度)	2021年度 (R3年度)	2022年度 (R4年度)	2023年度 (R5年度)	目標値 2025年度 (R7年度)
電気 (KWh)	33,840,588	30,043,871	30,468,685	31,246,839	<u>31,671,430</u>	31,810,153
都市ガス (m <sup>3</sup> )	2,459,001	2,597,232	2,715,390	2,783,332	<u>2,818,349</u>	2,311,461
熱源 (MJ)	7,162,882	6,905,470	6,938,248	7,167,208	<u>7,551,519</u>	6,733,109
燃料 (ℓ)	252,951	95,108	80,099	81,705	<u>94,379</u>	237,774

① 目標値は、基準年度の2019年度から-6%の数値

② 燃料は、ガソリン、軽油及び重油の購入量

(※天然ガス車のCNGガスの使用量は、ガスに含まれる。)

### 3 令和5年度の水道、紙の使用量及び廃棄物の排出量

温室効果ガス排出量の算出対象ではないが、本計画では地球温暖化防止に寄与する取組として、水道、紙の使用量（A4換算）、庁舎から排出される廃棄物について、計画期間中の前年度比1%（計画期間中6%）以上の削減を目標としている。

水道使用量は14.8%増加、紙の使用量は0.7%増加、廃棄物排出量は8.7%増加した。

(1)	水道使用量	<u>621,257 m<sup>3</sup></u>	
	前年度	540,771 m <sup>3</sup>	14.8%増加
(2)	紙の使用量	<u>85,694,713 枚</u>	
	前年度	85,116,245 枚	0.7%増加
(3)	廃棄物排出量	<u>19,439 k g</u>	
	前年度	17,882 k g	8.7%増加

表3 発生源別使用量

	基準年度 2019年度 (H31年度)	2020年度 (R2年度)	2021年度 (R3年度)	2022年度 (R4年度)	2023年度 (R5年度)	目標値 2025年度 (R7年度)
水道 (m <sup>3</sup> )	606,542	520,104	548,779	540,771	621,257	570,149
紙 (枚)	73,496,215	70,003,534	91,825,380	85,116,245	85,694,713	69,086,442
廃棄物 (Kg)	14,808	15,100	16,681	17,882	19,439	13,920

### 4 令和5年度評価

温室効果ガスの総排出量、各エネルギー使用量、水道・紙の使用量及び廃棄物排出量ともに前年を上回る結果となった。温室効果ガスの総排出量については、目標値に届いていない。

また、平成31年度から令和2年度にかけては、新型コロナウイルス感染症に伴う事業の縮小・中止があったことにより、各項目ともに排出量及び使用料が減少していたが、新型コロナウイルス感染症による規制が緩和された後、各種事業が復活したことにより各エネルギーや水道等の使用量も増加してきているものと考えられる。

## 5 今後の計画

事務事業による温室効果ガスの総排出量について、増加傾向にある中、これまでに行っている取組を継続して行っていくほか、再生可能エネルギーの導入の推進を行っていくことにより、目標達成に近づきたい。

また、墨田区地球温暖化対策実行計画（事務事業編）第6次計画策定に向けては、区の環境基本計画である「すみだ環境の共創プラン」とも整合性を取り、目標値の設定を行っていく。